

育成した根こぶ病抵抗性CRbを有するナバナ新系統「鹿児島2号」の特性

「鹿児島2号」は根こぶ病抵抗性を有し、在来種「開聞1号」に比べて、開花期、花色、草丈などは類似する特性を持つ

背景・目的

- ・指宿市において平成25年に景観用菜の花にアブラナ科根こぶ病の発生
- ・菜の花マラソン景観用としても重要な観光資源、近隣のキャベツなどアブラナ科野菜への影響が危惧される
- ・市販品種は、在来種と比べて開花期が遅く、草丈、花色など外観形質が異なる
- ・根こぶ病抵抗性を有し、開花期など本地域に適応性の高い品種が必要

成果の内容



鹿児島2号



開聞1号

図 根こぶ病発生ほ場での開花状況

「鹿児島2号」の特徴（在来種「開聞1号」と比較）

- ・開花期はやや早く、開花期間は同等
- ・草丈は同等
- ・根こぶ病抵抗性を有し、発生ほ場でも栽培可能

期待される効果

指宿市の重要な観光資源である菜の花栽培が安定し、おとり植物として栽培することで地域全体の根こぶ病菌密度抑制効果

導入
メリット



菜の花マラソン、菜の花マーチで満開



キャベツなどアブラナ科野菜ほ場およびその周辺で栽培することでおとり植物になる

おとり植物として栽培することで地域全体の根こぶ病菌密度抑制効果

普及対象・範囲
指宿市における菜の花生産者